

あま かわ べ  
天の川辺



双葉中学校通信

No.8(2023.9.13発行)

〔文責:澤田隆文〕

教育目標 心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう  
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～

目指す生徒像 自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生

双葉中学校ホームページ  
はこちら



## 「フィードフォワード」の手法で子どもの自発的な成長を!

過去の失敗にとらわれず、将来どうしたいかという視点で考え、行動する「フィードフォワード」という手法があります。「創造的思考法」と言われることもあります。

この手法により、「子どもの自発的な成長が期待できる」ため、近年、家庭での子育てや学校教育で重視されてきています。

例えば、家庭で子どもを叱る際に、「なぜやったのか?」と責めるのではなく、「次からどうすればいいのか?」を問うことを大切にします。人を傷つける言動をしたり誤った判断で行動したりした子どもに対し、よくないことをしたという事実の指摘は必要です。

学校では、自分のしてしまったことや課題をふり返らせ、自分自身で課題を改善する力を育む「フィードバック」という手法も大切にします。昔から「過去の過ちに学ぶ」ことは人を成長させると言います。しかし、その「フィードバック」に加えて、「今後どのように行動するのか(すべきか)」を自分自身で考え、導いていくことが大切だと考えています。

私たちはどうしても過去にとらわれがちです。特に、誤った言動をしたり失敗したりしたことを、いつまでも悔やんで、なかなか次の一歩が踏み出せないことも少なくありません。しかし、「これからどのようにすればよいか。」「これからどうしたいか。」を考え、それをめざすために必要な修正や努力をしていこうとする思考を繰り返すことで、次の新たな一歩を踏み出そうとする意欲につながるのです。よりよく生きる明日の自分の姿を思い描くことで、思考が創造的になり、自分の課題にも取り組みやすくなります。

学校では、特別活動や部活動を中心に、この「フィードフォワード」という手法を重視し、子ども自身が「次からどうしていくのか。」を考え、発信する指導を行っています。発達心理学の専門家は、「もちろん過去の失敗から学ぶことや自己の分析は必要です。フィードフォワードをしっかりした上で、フィードバックをすると、社会を生き抜く力が育まれるのです。」と助言しています。



## 第72回近畿中学総合体育大会・全国大会の活躍

### ■近畿大会の結果

#### ◇柔道(和歌山ビッグウェーブ)

男子個人戦 55 kg級 外村 湊 1回戦惜敗

男子個人戦 50 kg級 北村心音 1回戦惜敗

#### ◇ソフトテニス(和歌山市立つつじが丘テニスコート)

○団体戦 1回戦惜敗 双葉中1-2日高中(和歌山)

○個人戦 予選リーグ惜敗 羽坂心春・秋山裕希

予選リーグ惜敗 高山玲菜・羽坂百花

#### ◇陸上競技(紀三井寺公園陸上競技場)

共通110mH 北村勇翔 第2位 14"83

共通走幅跳 横田咲希哉 第9位 6m13

共通円盤投げ 木谷莉緒 第11位 25m66

2年100m 田里日菜梨 予選惜敗 13"24

### ■全国大会の結果

#### ◇第54回全日本中学校柔道大会(鳴門・大塚スポーツパーク)

男子個人戦 55 kg級 外村 湊 2回戦惜敗

男子個人戦 50 kg級 北村心音 2回戦惜敗

#### ◇第50回全日本中学校陸上競技選手権大会

(愛媛県総合運動公園陸上競技場)

共通110mH 北村勇翔 予選惜敗 14"99

# 1 学期 学校評価アンケートの結果 ご協力をありがとうございました。

生徒アンケート 質問項目(%)		R4 12月	比較
《視点1》子どもたちが安全・安心に学び過ごせる学校づくり			
1	学校教育目標を理解している。	87.6	87.5 0.1
2	学校に楽しく通っている。	92.5	92.4 0.1
3	ルールやマナーを守って、規律ある生活をしている。	96.0	96.4 -0.3
4	掃除を頑張っている。	96.3	95.0 1.2
5	いじめや仲間はずし、人を傷つける言動を見過していない。	94.5	96.4 -1.9
新規	その場所、場面にに応じてあいさつができています。	71.2	-
7	先生方は、親しみやすく相談しやすい。	90.2	87.5 2.7
8	部活動は充実している。	91.6	92.0 -0.4
9	家庭で学校の様子を話し、通信などの便りは見せている。	86.4	88.1 -1.7
《視点2》生徒の確かな学力を保障する学校づくり			
1	人の話をしっかりと聞くことができる。	94.1	95.4 -1.3
2	授業中に自分の考えを発表できている。	71.3	67.7 3.6
3	各教科の授業は、わかりやすい。	93.0	91.6 1.4
4	道徳の時間に自分を振り返ることができている。	92.3	95.4 -3.1
5	総合的な学習の時間は、意欲的に取り組んでいる。	92.7	92.4 0.3
6	家庭学習(宿題、自主学習、予習、復習)にしっかりと取り組んでいる。	84.3	84.2 0.2
《視点3》生徒の学習習慣・生活習慣の確立をめざす学校づくり			
1	テレビは、1日どれくらい見ますか。(2時間未満)	78.2	84.2 -6.0
2	ゲームやインターネットを1日どれくらい使っていますか。(2時間未満)	59.5	57.1 2.4
3	携帯やスマホで通話、メール、ライン等をほとんどしない。	40.3	44.9 -4.6
4	家庭学習は、1日どれくらい使っていますか。(2時間以上)	21.9	29.0 -7.1
《視点4》地域に貢献し、地域社会の一員として信頼される学校づくり			
1	地域の行事に参加した。	65.2	67.7 -2.5
2	双葉中に誇りを持っている。	89.1	90.1 -1.0
3	機会があれば、地域でのボランティア活動などに参加してみたい。	70.7	66.7 4.0
《視点5》生徒の自己肯定感、自己有用感を育成する学校づくり			
1	自分に自信を持ち生活できている。	82.2	81.2 1.0
2	自己の目標や学級・学年・部活動(地域活動等含む)など仲間やチームの目標を達成するために粘り強く努力した。	93.6	96.4 -2.7
3	先生方から努力する(しようとする)自分の姿を励まされたり、応援されたりしてもらっている。	85.9	85.8 0.1
4	私は、将来の夢や目標がある。	69.4	67.7 1.7
5	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。	89.6	93.1 -3.5
6	人の役に立つ人間になりたいと思う。	96.9	96.0 0.8
7	学校生活、地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。	81.3	80.9 0.5

保護者アンケート 質問項目(%)		R4 12月	比較
《視点1》子どもたちが安全・安心に学び過ごせる学校づくり			
1	学校教育目標を理解している。	77.0	76.6 0.5
2	学校は、特色ある学校・開かれた学校づくりに熱心に取り組んでいる。	75.7	78.5 -2.8
3	学校は、教育環境づくりに熱心で、よく整備されている。	82.6	83.5 -1.0
4	学校は、部活動指導や特別活動・行事活動に熱心に取り組んでいる。	83.1	82.9 0.2
5	わが子は、楽しく充実した学校生活を送っている。	85.5	85.4 0.1
6	わが子は、その場所、場面にに応じてあいさつができています。	73.7	69.6 4.1
7	わが子は、家で学校のことを話してくれる。	70.4	71.5 -1.2
8	わが子は、ルールやマナーを守り、規律ある生活をしている。	90.5	89.2 1.3
9	先生は、指導力があり、子どもの話もしっかりと聞いている。	76.2	72.2 4.0
10	先生は、気軽に相談でき、信頼できる。	76.4	77.2 -0.8
《視点2》生徒の確かな学力を保障する学校づくり			
1	学校は、生徒の「学力向上」に熱心に取り組んでいる。	71.9	70.3 1.7
2	学校の先生は、わかりやすい授業づくりに熱心に取り組んでいる。	69.0	63.9 5.1
3	わが子は、自分の考えや意見をしっかりと表現できる力を身につけている。	64.1	60.8 3.3
5	学校は、生徒の「健やかな体・体力向上」の育成に熱心に取り組んでいる。	85.2	84.8 0.3
《視点3》生徒の学習習慣・生活習慣の確立をめざす学校づくり			
1	わが子は、家庭学習の習慣が身についている。	63.9	62.0 1.9
2	わが子は、基本的な生活習慣が身についている。	84.9	84.8 0.0
《視点4》地域に貢献し、地域社会の一員として信頼される学校づくり			
1	学校と家庭・地域との連携はうまく図られている。	68.9	70.3 -1.4
2	学校内のコミュニティー・スクール(学校運営協議会)について知っている。	40.8	32.9 7.8
《視点5》生徒の自己肯定感、自己有用感を育成する学校づくり			
1	わが子は、優しい心を持ち、思いやりのある言動ができる。	93.8	88.0 5.8
2	学校は、生徒の生徒の「自己肯定感」(自分がんばればできるんだという思い)の育成に熱心に取り組んでいる。	75.1	74.7 0.4
3	1学期に、わが子の成長したところが確認できる。	73.0	72.8 0.3

1 学期末に実施した生徒・保護者アンケートの結果を紙面にてお知らせします。アンケートの実施に当たっては、ご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果を、本校の学校運営の重点にあわせて5つの視点別に整理しています。

何よりも「学校に楽しく通っている。」「掃除をがんばっている。」と肯定的に回答した生徒が増加したことはたいへん嬉しいことです。また、「ルールやマナーを守って、規律ある生活をしている。」「いじめなど人を傷つける言動を見過していない。」と回答した生徒の割合は依然として高く、仲間を大切に感じながら生活する様子が表れています。

さらに、「自信を持ち生活できている。」「将来の夢や目標がある。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」「学校生活、地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある。」と肯定的に回答した生徒が多く、自己肯定感や自己有用感が育まれてきていることがわかりました。

授業では、意欲的に取り組む生徒が多く、「授業で自分の考えを表現できている。」と回答した生徒が増加しました。

保護者の皆さんからは、確かな学力を育む取組に評価をしていただいています。一方で、わかりやすい授業づくり等に向け、改善を願うご意見やご指摘もいただきました。引き続き、授業の工夫や改善に努めていきたいと思っております。

家庭では、ゲームやインターネットを2時間以上利用する生徒が増加しており、家庭での学習時間が依然として少ない生徒が多いことから、家庭での学習習慣のあり方が課題となっています。引き続き、家庭でのご協力をお願いします。

今後も、アンケートの結果やいただいたご意見を生かし、双中生が夢や志をもって粘り強く努力を積み重ねていけるよう指導・支援に努めていきたいと考えております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。